






90th CSR REPORT 2025

活動報告書



目次

03. はじめに	
06. 事業活動	
12. 品質・環境・労働安全衛生の取り組み	
23. お客様・地域とのつながり	
31. HAGURUMA Family	

この報告書について

「株式会社 羽車 活動報告書」は、私たちが皆さまから親しまれ、お客様とともに創造性を高める企業であり続けるために、企業理念や活動をお伝えすることを目的に作成しています。同時に、環境・品質・労働安全衛生への取り組みを透明性をもって社内外に開示する報告書でもあります。

私たちの事業活動や取り組み、地域社会やお客様、そして社員とのつながりについて、ご一読いただけましたら幸いです。

株式会社 羽車
事業推進室 広報 柳

対象期間 2024年10月～2025年9月
発行 2025年12月



はじめに

代表より

第90期のCSR活動報告書をお届けいたします。

業績については、売上横ばい、利益減少という結果になりました。郵便料金の値上げやコストの上昇など、依然として厳しい事業環境ではありますが、設備投資などを着実にを行い、足元を固めた一年となりました。

第90期の大きなトピックスは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）へ出展したことです。アナログな活版印刷の魅力を活かし、日本の縁起物をテーマとしたアート作品を展示した本取り組みには、多くの社員やお取引先の皆さまにご来場いただきました。万博への参加は、羽車にとって自社の姿勢や価値観を広く発信する大きな意義のある機会となりました。また、国際的な認証制度であるB Labが運営する「B Corp™認証」の取得も実現しました。約2年にわたる審査期間を経ての取得でした。今後はこの認証を軸に、事業とガバナンスのバランスの取れた経営を進めてまいります。

一方で、主力事業である封筒分野は郵便料金の値上げにより厳しい状況が続きました。今後も封筒需要の減退は避けられませんが、新たな商材も少しずつ育ち始めています。これらの新商材をしっかりと伸ばすことで、事業全体の厚みを増していきたいと考えています。

コロナ禍以降継続している全社員ミーティングは、今年で5年目を迎えました。私自身が会社の現状や社会課題への向き合い方を直接伝えることで、社員一人ひとりが会社の方向性を理解し、自発的な取り組みへとつながっていると感じています。今年度も全社員ミーティングを継続し、社員研修や学びの機会もさらに広げていく予定です。

本報告書は、事業、環境、地域、社員、そして社会との関わりや取り組みを紹介するものです。ぜひご一読いただき、私たちの活動へのご理解を賜りますとともに、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長
杉浦 正樹



社名	株式会社 羽車		
創業	1918.10.7	設立	1936.1.1
代表者	杉浦正樹	従業員数	170名
事業内容	封筒・紙製品の企画・製造・販売、インターネットによる通信販売		
事業所	本社 大阪府堺市・東京		
関連会社	株式会社ウイングド・ウィール		

経営理念

「良いデザインを共につくる」

私たちが事業をする目的

お客様に対して

①お客様のブランド力を高め、
その良さを世の中に伝えるお手伝い

良いデザインを共につくる

社員に対して

②働く人の個性を尊重し、
成長の機会と安心感を与える

社会に対して

③社会課題に向き合い、
新しい企業文化を発信する

私たちが目指す人物像

誰からも声をかけられやすく、
いつも心が笑顔の人

日々の仕事に楽しさや、
やりがいを見いだせる人

目標を達成するために最大限の
努力をしている人

周りの人の仕事を助け、
チームワークの大切さを示せる人

常に謙虚であり、言葉づかいや
振る舞いに品がある人

アートとユーモアを愛する人

人を喜ばせたり感動させたりする
ことが好きな人

自身の健康と環境問題に
日頃から取り組んでいる人

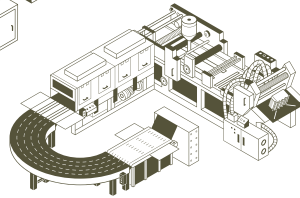
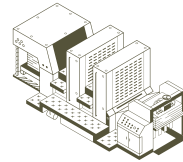
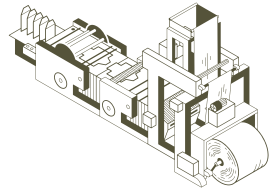
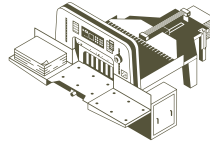
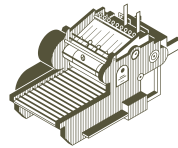
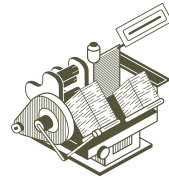
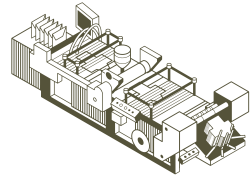
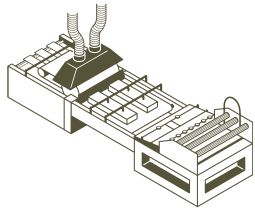
新しいことに挑戦し、自分や
チームを変えていける人

自分の考えを持ち、率先して
発言できる人



事業活動

羽車では、3,000種類以上の封筒、カード、パッケージ、箱、冊子などの紙製品／布製品へ、お客様のご要望に応じた別注品（オリジナルオーダー）の製造販売を行っています。



保有設備

断裁機 6台

抜き加工機 15台

製袋機 14台

製函機 5台

印刷機 48台

セロ窓加工機・口糊加工機・

製本機など 44台

営業拠点

大阪・東京の各営業拠点では外勤営業とカスタマーセンターを設け、迅速に対応できる体制をとっています。

全国への出張営業、インターネットでの通信販売も行っております。東京表参道ショールーム・大阪本社ショールームは、商品を直接手に取り相談や注文ができるスペースとしてご活用いただいています。

合計 132台

サステナビリティ

羽車が目指す多様性、公正性、包括性

羽車は、多様な視点と背景を持つ人を大切にしたいという考えに基づき、従業員の年齢、性別、人種、性的指向、性自認、社会経済的地位、民族、障がいの有無、能力、国籍、文化、言語、宗教、意見、政治的な立場、経験、経歴などの違いを尊重します。多様な視点と背景を持つ人が、活躍できる場と機会を公平に得られるよう、一人ひとりに必要なサポートを提供します。羽車は、従業員の誰もが適切な機会を得ることができるインクルーシブな文化の構築に取り組み、その範囲が地域社会にも行き渡ることを目指します。

羽車倫理規定

羽車のすべての役員および従業員が企業の社会的責任を深く自覚し、日常の業務遂行において関係法令を遵守し、社会倫理に適合した企業行動を実践するために、倫理規定を設けています。

行動規範

- ・私たちは、企業理念と事業を行う3つの目的に対し、誇りを持って行動をする
- ・私たちは、顧客、株主、取引先等すべての利害関係者と公正な取引・関係を維持する
- ・私たちは、関係法令の遵守はもとより、常に社会常識の下で行動する
- ・私たちは、すべての人の基本的人権を尊重し、国籍・民族・宗教・性別・年齢等、個人の尊厳を傷つける行為は行わない
- ・私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体とは一切の関係を遮断する
- ・私たちは、知的財産権の維持・確保に努め、同時に他者の知的財産権を尊重し、故意に侵害または不正使用を行わない
- ・私たちは、職務上の立場を利用して、取引先から個人的な利益・便宜の供与を受けない
- ・私たちは、企業秘密に属する情報（個人情報を含む）を厳重に管理し、在職中および退職後を問わず社外へ漏洩しない

腐敗防止

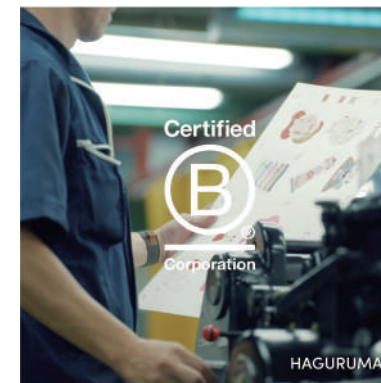
- ・私たちは、贈収賄や談合を禁止し、公正かつ自由な競争のもと、誠実・透明性をもって事業活動を推進します
- ・羽車の取締役、執行役、従業員の行動に違反行為があった場合には、「羽車倫理規範室」にて速やかに対処・是正するとともに、原因究明と再発防止に努めます

運用体制

代表取締役社長が「企業行動倫理最高責任者」となり、また組織においては、企業倫理を常に検証し見直す部署「羽車倫理規範室」を設置し、責任者と定期的に現状把握と制度の見直しを討議します。

B Corp™ 認証取得について

2025年8月、株式会社 羽車は国際的な企業認証制度「B Corporation（以下、B Corp）」認証を取得しました。



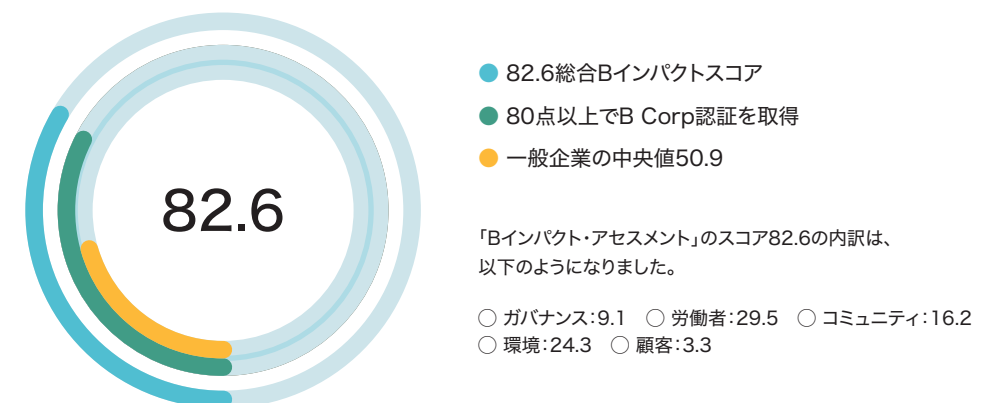
B Corp 認証とは

B Corp 認証は、環境や地域社会、働く人への配慮など、利益だけでなく社会的な責任も重視する企業の国際的な認証です。米国のNPO法人「B Lab™」が運営し、独自の基準「Bインパクト・アセスメント」に基づいて、持続可能性や経営の透明性など、幅広い観点から審査します。200点満点中80点以上を獲得した企業が、社会や環境への取り組みを実践する企業（B Corp）として認証されます。

羽車は紙製品メーカーとして、ISO9001や森林認証などを取得して持続可能な製品づくりに取り組んできました。一方で、企業としての倫理観や、客観的な指標と方向性の道しるべとなる指標はありませんでした。

B Corp 認証は、取得の過程でBIAという基準に基づき、証跡となるデータを提出します。この過程で、自社の「現在地」を可視化できるため、倫理的な経営の指針になると認識しています。羽車の経営理念「良いデザインを共につくる」は、ものづくりだけでなく、人・社会・環境と共に歩む姿勢へと広がっていくと考えています。

「Bインパクト・アセスメント」羽車のスコア



製造業は原材料から製造・流通までの工程が長く、社会・環境への配慮を実証する難しさを感じました。

総務部では、全仕入先を対象に、登記地が自社から80km圏内か、上場企業の子会社などに該当しない独立企業が、行動規範を遵守しているかといった点を改めて調査・整理しました。また、主要な取引先とは「インクルーシブな文化の構築」などの責務を共有し、取引基本契約を改訂・再締結しました。

認証取得の過程では、B Corpの観点から多くの学びを得ることができています。

新しい価値の提案

新商品・新サービス

90期は、多くの新商品・サービスを追加いたしました。新しい素材や技術に挑戦した商品や、お客様の利便性を高めるサービスなど、より充実した内容をお届けできるようになっています。今後も、お客様にご活用いただける商品・サービスの提供を目指し、企業やブランドの魅力が伝わる紙製品をご提案してまいります。



新しいオリジナル紙素材

温かな中間色の紙「Colorsグレージュ」、厚みを楽しめるカード素材などをご提案
印象的なラッピング材



新しい箔色を追加

紙素材に映える箔色が充実しました

多色活版印刷のアートカード「Piece of Peace」

大阪・関西万博に出席



オリジナル企業ギフトのご提案

布製品への刺繍サービスをスタート

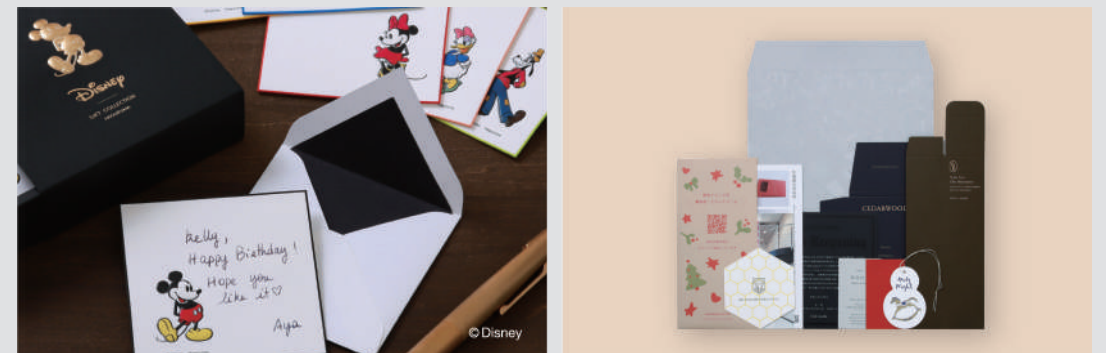


+ (プラス) デザインサービス (かんたん)

印刷注文をお考えの方にデザインからご提案

質感のよいオリジナルカレンダー

温かみのあるシンプルなカレンダー



ライセンス商品の製造・販売

Disney キャラクターのギフト商品

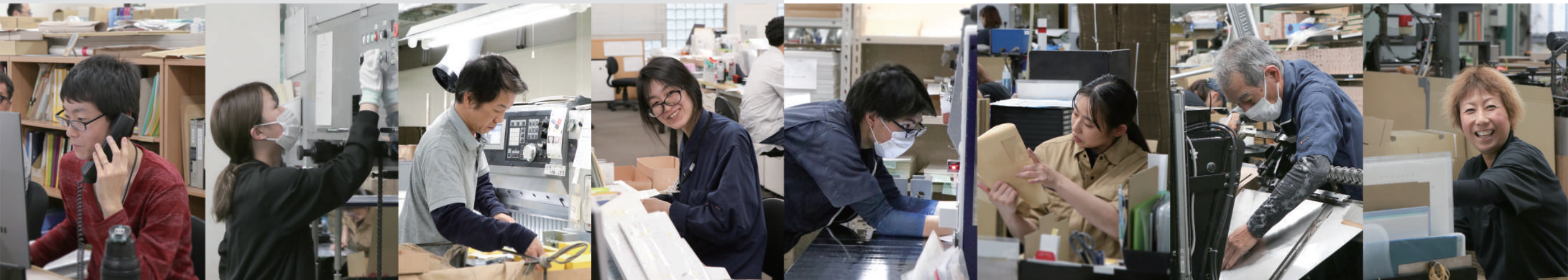
用途や季節に合わせた無料サンプル

紙や印刷加工の参考に好評

品質・環境・労働安全衛生の取り組み

「良いデザインを共につくる」

この経営理念のもと、デザイン性の高い印刷物を相談できる企業として全社員が努力し、経営全般の継続的改善を実施します。紙製品の主原料は木材パルプであり、森林保護・環境問題と切り離せない産業です。国際社会の目標「SDGs（持続可能な開発目標）」とも深く関わります。当社は企業活動を通じて、社会の発展と地球環境保全に貢献する活動に取り組み、人と環境に優しい持続可能なものづくりに自主的、積極的に取り組みます。



行動指針

1

品質・環境方針達成のため、品質・環境目標を各部門に展開し、継続的な改善を図る品質・環境マネジメントシステムを確立、維持し、定期的に見直しをします。

2

現在及び将来において適用される法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3

顧客要求事項、及び法的・規制要求事項を満たす製品を提供します。

5

環境配慮型製品の普及推進、環境負荷の少ない諸資材（森林認証紙・再生紙・非木材紙・再生窓用フィルム・植物油インキなど）を使用した製品開発を積極的に行います。

6

品質・環境方針は全従業員に周知し、一般に公開します。

4

環境負荷を低減するため、下記について積極的な活動を推進します。

- ① 省エネルギー、CO₂排出量及び廃棄物の削減・リサイクル・グリーン調達の推進。
- ② 整理・整頓・清掃・清潔・躰（5S）による業務効率の向上。
- ③ 過剰廃棄の見直しによる資源の有効利用。
- ④ 梱包方法、梱包材の見直しによる梱包資材の節約。
- ⑤ 化学物質の適正な管理、人と環境に負荷のない溶剤の使用。
- ⑥ 環境問題を全社で取り組むテーマとし、社員研修により意識を高める。
- ⑦ 循環型ものづくりの推進。





品質・環境管理事務局

マネジメントシステム

品質向上、環境経営、個人情報保護体制については下記マネジメントシステムを導入し、常に改善活動を行っています。また、紙製品の販売においてはFSC認証の流通過程であるFSC®CoC認証を取得しております。各部門の上にISO・エコアクションの事務局をおき、品質・環境への取り組みを行うと同時に、定期的なマネジメントレビュー、内部監査などのスケジュール管理を行っています。



エコアクション21

環境省のガイドラインに基づいた事業者のための認証・登録制度です。二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量について、削減目標を設定し数値管理をしています。さらに、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル、節水、当社製品の環境性能の向上及びサービスの改善に取り組んでいます。



FSC®CoC 認証 (FSC-C143210)

FSC® (Forest Stewardship Council® : 森林管理協議会) 認証とは、適切に管理されていると認められた森林から生産された木材や、その他のリスクの低い木材を使用した製品にFSCラベルを付け、認証製品として販売できる制度です。当社オリジナル原紙の使用量の内、約90%が森林認証紙を使用。非木材紙やグリーン購入法適合品なども含めると当社全使用量中約71%が環境配慮原紙となります。
※CoC 認証とは Chain of Custody=『管理』をつなぐ、つまりFSC 認証製品の木材が確実に使用されていることを実証することが目的です。



ISO9001

ISO9001に基づく品質保証システムを構築しています。『お客様視点に立ったものづくりの仕組み』を強化し、品質保証活動を通じて徹底した品質管理を行っています。



プライバシーマーク (Pマーク)

個人情報保護体制については、一般財団法人日本情報経済社会推進協会によるプライバシーマーク (Pマーク) を取得しています。定期審査により個人情報取扱いの意識を高め、お客様により安心してサービスをご利用いただけるよう努めています。



B Corporation (B Corp) 認証

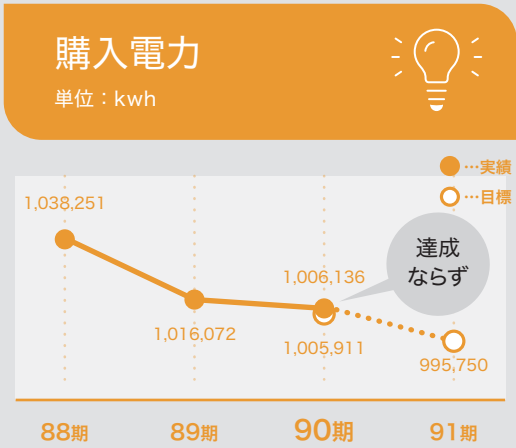
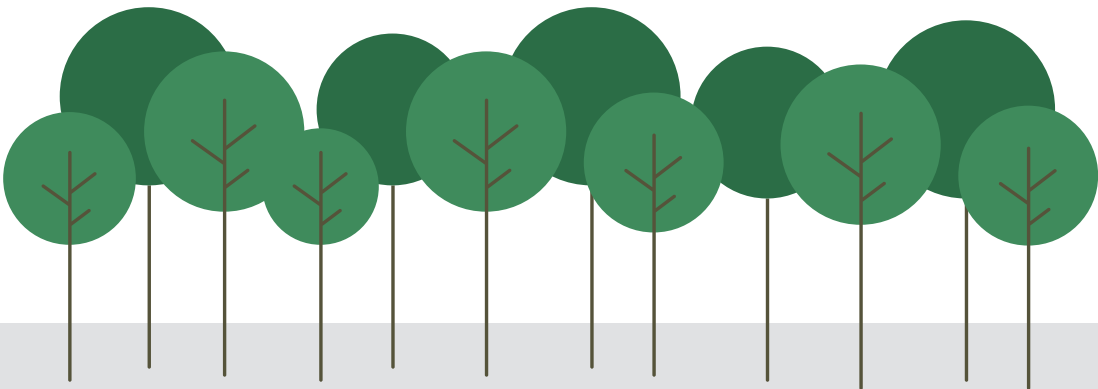
B Corp 認証は、利益だけでなく社会的な責任も重視する企業の国際的な認証です。「B Lab™」の基準に基づき、「ガバナンス」「従業員」「コミュニティ」「環境」「顧客」の観点から審査し80点以上で認証となります。



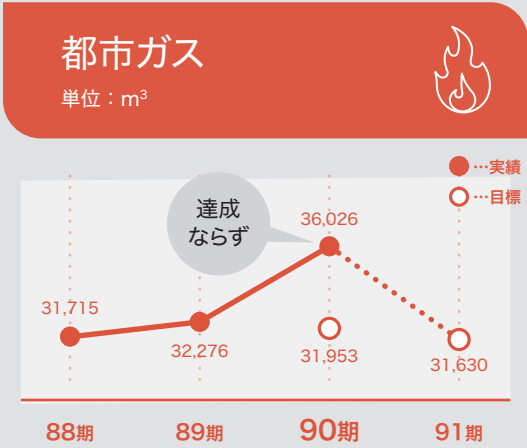
環境方針実績・目標

環境目標実績に対する90期の総括

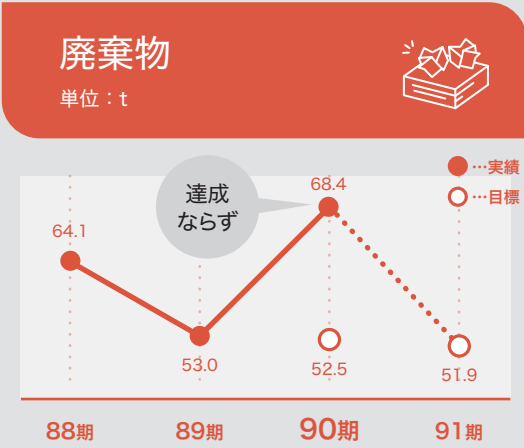
90期は、7項目中3項目について目標値を達成しました。生産売上は昨年対比100.5%でした。前期に続き90期末にも工場1～3Fの設備レイアウト変更を行い、91期はさらに生産性アップを目指します。



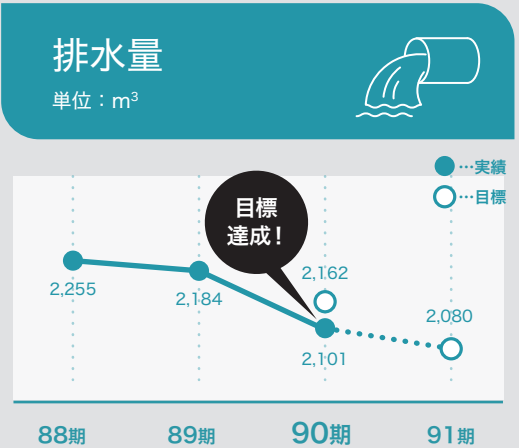
電力効率のよい生産設備と空調設備を導入し、わずかですが使用量が減少しました。
※ 本社建物内の電力は再生可能エネルギー（100%）です。
※ 購入電力のCO₂排出係数は本社0.401、東京0.421で算出しました。



90期はガス空調設備の新規導入はありませんでしたが、7,8,9月の気温が高く、前年比111.6%と大幅に増加しました。



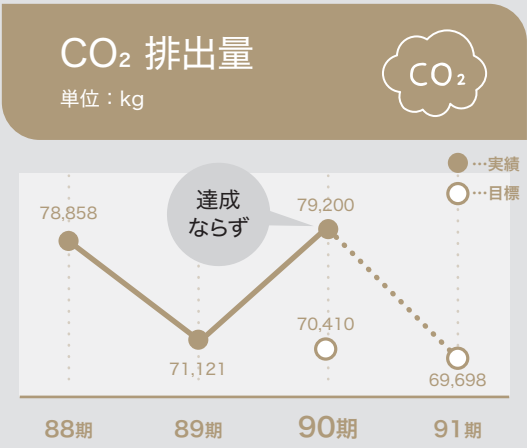
90期は生産効率の改善と新事業強化のため、10台の機械を導入しました。設置場所確保のため、部品利用目的の機械を処分し、廃棄量が増加しています。
※廃棄物には含まれませんが、製造時の余り紙を再度仕立て直し活用する取り組みも継続しています。



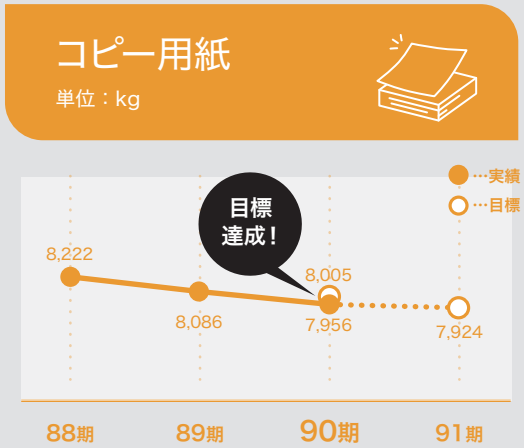
90期は敷地内の植樹を行いませんでした。また、一日の散水時間を短くしたため、年間を通じて水の使用量が減少しています。



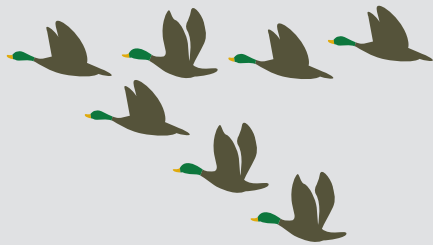
営業車でのお客様への訪問機会が減り、使用量は減少を続けています。



夏季の気温上昇により、ガス空調設備の稼働が大幅に増え、それに伴ってCO₂排出量も増加しました。

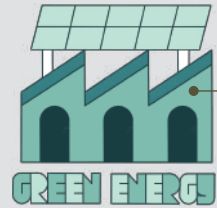


製造現場にタブレット端末を追加導入し、引き続きペーパーレスに取り組んでおり、使用量が微減しました。



持続可能な取り組み

環境と人に配慮して開発した商品と、羽車が継続する取り組みをご紹介します。



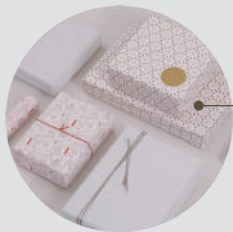
本社電力は「100%再生可能エネルギー」

2021年7月より、本社電力を水力・風力・太陽光に由来する再生可能エネルギーに切り替えています。



森林認証紙の素材 Basic Colors Style

シンプルで風合いのある紙素材が充実。90期の森林認証紙・再生紙パルプの使用量は1071.99トン。全使用量の76.1%が、環境に配慮した紙素材となりました。



紙製パッケージの開発

脱プラスチック商品としてレジ袋に代わる紙製の平袋や、ファイル、ラッピング用品をご用意。90期も森林認証紙のデザイン付き既製品をご提案しています。ショールームでも紙製平袋を採用しています。



人にやさしい「リップルカット」の封筒

紙の端をゆるやかな波形にオリジナル加工し、封緘作業時の手指の安全性を高めた封筒です。



14年目を迎えた0円ペーパー

製造時に発生する余り紙をメモに仕立て、お客様へ0円で販売しています。2011年からの累計で、17トンの紙をご利用いただいています。主に廃番品をアソートした「ミステリーバッグ」も好評です。



ボックスペーパー・BLOCK MEMO

メモやDIYの材料用に余り紙をカットした「ボックスペーパー」や「BLOCK MEMO」。余り紙に少し手を加え、お客様に楽しく再利用いただく取り組みが広がっています。

品質向上への取り組みと事故件数

品質向上の取り組みとして、ISO9001のマネジメントシステムに加え、営業・管理・製造部門が集まり製販品質会議、製造部門の品質会議を定期的に行っています。社内間のコミュニケーションを重視し、品質向上を目指します。

品質向上への取り組み

90期より外部コンサルタントを招き、製造部全体で取り組む改善活動「Bee Lab.」を開始しました。各セクションマネージャーが中心のメンバーとなり、セクション間の関係性を高め、議論を通じて現場の変化を加速させることを目指しています。品質面では、お客様の声や営業・製造間で起きている問題（品質・作業ミスに繋がること）に対し、原因分析と改善策を全部署に共有し、品質問題の防止と再発防止に努めています。



「グッジョブNews」の作成

「グッジョブNews」は、「Bee Lab.」内で発行しています。内容は、お客様からいただいた嬉しいコメントや感想を定期的にまとめ、ファイリングしています。品質向上と社員のモチベーションアップにつながる取り組みとして、月1回、社内で見直しを行っています。



5S活動の推進と安全衛生の強化

90期は、より多角的な視点からの改善提案を目的に、5S活動のメンバー編成を変更しました。新体制では、経験者と未経験者が協力し合い現場を巡視することで、新たな気づきや学びの場を創出しています。巡視の結果、指摘箇所は63件、改善箇所は46件確認でき、積極的な改善活動が見られました。一方で「指摘部門が限定される傾向にある」との意見もあり、今後は全社的な視点でのチェック体制を強化していきます。引き続き、改善前後の写真掲示による情報共有や、整理整頓を通じた安全・快適な職場環境づくりを推進してまいります。



品質事故件数

90期のクレーム件数は前期比109%となり、内容の約55%が印刷に関するもので、印刷色の濃淡や活版印刷の凹み具合、ベタ面印刷による裏写り汚れなどがありました。羽車では、風合いのある紙素材が多く、印刷仕上がりにはばらつきが生じやすいという課題があります。そこで、インキディスペンサーの更新や加工機械の見直し、UV印刷機の導入などを実施しました。また、不良集計表と分析表に不良品を添付して、月に1回社内で見直し、全社で情報共有を行っています。印刷検査チームによる勉強会を通じて技術向上を図り、高品質な製品づくりと顧客満足度の向上に努めてまいります。



社内事故報告

労働災害(社内事故)3件

2024年10月 箔ロールを廃棄中、カッターナイフで左掌を切創

2025年2月 清掃中に階段側面の角で頭部を打ち裂傷

2025年7月 紐結び機の紐を張るツメ部分に、左人差し指が挟まり切創

生産中の事故 2件

清掃中の事故 1件

通勤労災 3件

2025年4月 原付バイクの転倒により右足首骨折

2025年4月 同上

2025年6月 自転車の転倒により右足の甲と左膝を打撲

苦情 0件

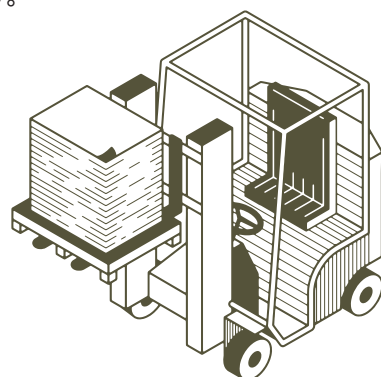
引き続き、工場内環境や周辺環境に対して法令遵守を徹底いたします。

安全衛生職場巡視

5S巡回メンバーによる工場内巡視を年間36回行いました。

改善前／改善後は写真を含めた記録にて共有しています。

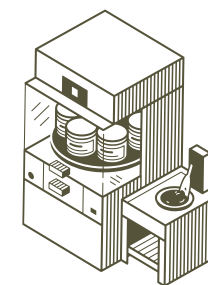
90期:指摘箇所63件 うち改善済み46件



労働安全衛生への取り組み

私たちは、機械や設備の安全確保、環境及び化学物質管理などの衛生対策を通じて、すべての社員が安全と健康を享受できる職場環境を維持することを、企業の社会的責任として重要視しています。

- ・2024年4月から施行された労働安全衛生規則の改正に伴い、化学物質管理者及び保護具着用管理責任者を選任しました。
- ・改正により新たに追加された化学物質を含む計896物質について、調査を実施し適切な管理体制を整備しました。
- ・安全衛生委員会を中心に、継続的な安全衛生活動を推進しています。



労働安全衛生活動の推進

化学物質などのリスクアセスメント※

当社では、印刷インキや糊など、工場内で使用する化学物質についてリスクアセスメントを実施し、成分ごとの有害性を評価しています。これにより、労働者への危険性や健康への影響の低減を目的とした管理を積極的に進めています。

90期では、リスクアセスメント対象物質「ノナン」の排除を目標に取り組み、その結果、ノナン配合製品の約50%を削減できました。ノナンは炭化水素系溶剤の一種で、揮発性有機化合物（VOC）に分類され、長時間の吸入や皮膚接触で健康への影響が懸念されます。今後も削減・排除に努め、より安全な作業環境の維持を図ります。

工場では、有機溶剤中毒予防規則（有機則）に該当する溶剤を使用せず、有機則フリーの環境を維持しています。これにより、法令順守はもとより、作業者の健康保護と安全性の確保を両立しています。

※ リスクアセスメントとは、化学物質などの有害性を評価し、作業現場での危険・健康リスクを低減するための手法です。

騒音・振動対策

機械設備には、真空ポンプやエアブローなど、稼働に必要な空気圧縮機が使用されています。これらは騒音や振動を発生させるため、作業者や地域環境への影響を考慮した対策が必要です。90期には低振動・低騒音型の機械へ更新し、作業環境の改善と周辺環境への配慮を両立しました。





お客様・地域とのつながり

地域での取り組み



2025年 大阪・関西万博の出展

羽車は、池田泉州銀行様の企画で、大阪ヘルスケアパビリオン内「リボンチャレンジ」にて、最大12色の多色活版印刷によるアート作品「Piece of Peace」を展示しました。日本の縁起物モチーフ72枚のカードは、多くのお客様へ、印刷加工の魅力と紙ならではの温もりある表現の可能性を紹介しました。社員や家族にとっても、自分たちの仕事が世界に発信される貴重な機会となりました。



みつばちプログラム

羽車では廃番商品や製造過程で発生する端紙を、近隣の教育機関へ無償提供しています。90期は以下の教育機関へ配布しました。
幼稚園 30件
廃番商品等を教育機関へ無償提供する取り組み「みつばちプログラム」は、堺市主催「学びの応援プログラム」に登録しています。引き続き児童のクリエイティブな学びに貢献できる取り組みを行ってまいります。



ASEAN諸国経営者の来社研修

2024年12月、関西経済連合会主催の第45回国際企業幹部研修で、アセアン諸国の企業・経済団体幹部 12名が来社されました。工場見学後、生産性や社会課題への取り組みなどについて、活発な意見交換が行われました。



制作例ギャラリー

「制作例ギャラリー（お客様デザイン）」には1,888件以上のお客様制作例をご案内。加工を検討中のお客様に大変好評です。制作例はキーワードで検索いただけます。（制作例数は2025年9月現在。掲載にはお客様の許可をいただいています）



チャリティーピンキーリング

国際協力NGO ジョイセフ（財団法人 家族計画協力財団）の取り組み「チャリティーピンキーリング」用のカードを作製・協賛しています。

お客様インタビュー



デザイン会社 代表

私はデザイン会社で代表を務めており、グラフィックデザインや映像編集をはじめ、企画制作全般を行っています。羽車さんのサイトは、デザインセンスがとても良く、こちらの要望をくみ取っていただけたと感じ、弊社の名刺をお願いしたのがきっかけでした。最近では、高級はちみつブランドの立ち上げで、デザインにこだわったパッケージが必要になりご相談しました。印刷済みシールに近い色でパッケージを作りたいだったので、サンプルをお送りして近い色に仕上げていただきとても助かりました。

羽車さんはオンラインストアですが、納品まで同じ担当者の方が対応されますし、電話やメールで細かな仕様の相談ができるのでいつも安心してお願いできています。

リクエストとしては、紙の種類がもう少し増えると嬉しいです。そして、サンプルを無料でいただけるとありがたいですね（笑）。また、紙や加工について一般的な情報に加えて、担当の方のご経験にもとづいた主観的なアドバイスをいただけると、とても心強いと思います。東京にショールームがあることを知りましたので、ぜひ今度伺ってみたいです。

羽車からの情報発信



コラム 紙と生活

生活にまつわる身近な紙について、歴史やこれからの様々な視点で考察するコラムです。（2025年9月現在：118記事）

産業革命時代に重宝されたレターヘッド～デザインや歴史を辿る～



HAGURUMA チャンネル

オンラインストアとショールームのメンバーが主体となり、インスタライブの配信を行いました。新商品や加工についてフレンドリーにお伝えしています。



ハンドメイド作家

私はファッション小物や布製アクセサリーのハンドメイド作家です。羽車さんを知ったきっかけは、タグや名刺のオーダー先を検索していたとき、センスの良い制作例が目にとまったことでした。オリジナルオーダーが可能で、さらにデザインも提案いただけるサービスがあることを知り、こちらでデザインする時間や技術がなくてもよい形にしてもらえると感じ、お願いすることにしました。

最近は名刺やショップカード、タグ、アクセサリー台紙などをお願いしました。注文の際に一番大切にしているのは、やはりブランドイメージを損なわないことと、価格面です。羽車さんからは、こちらの商品イメージに合わせた紙質やデザインを提案いただき、また価格面も考慮した仕様をご案内いただいたので、安心して選ぶことができました。

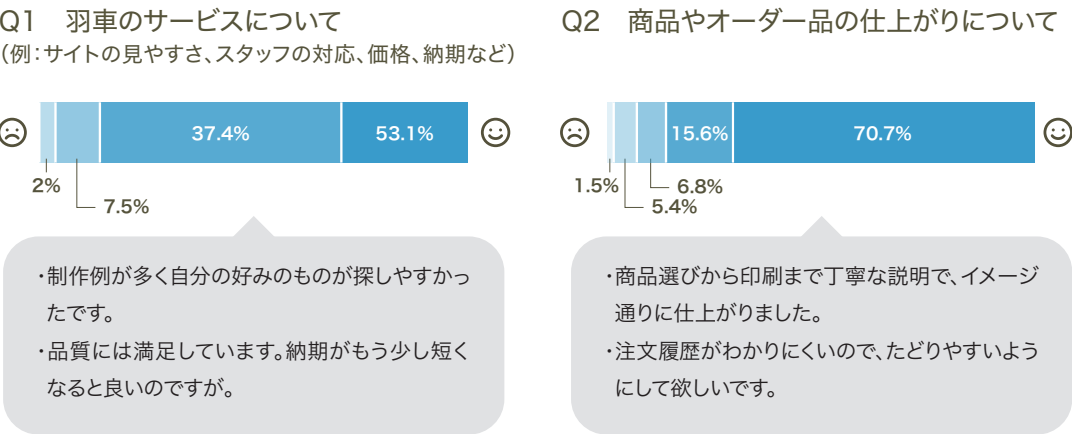
リクエストとしては、チラシやパンフレット制作の気軽なプランがあれば嬉しいです。質問や不安にも1日以内にご対応いただけるなど迅速で、次回もぜひ利用させていただきたいです。

お客様満足度アンケート

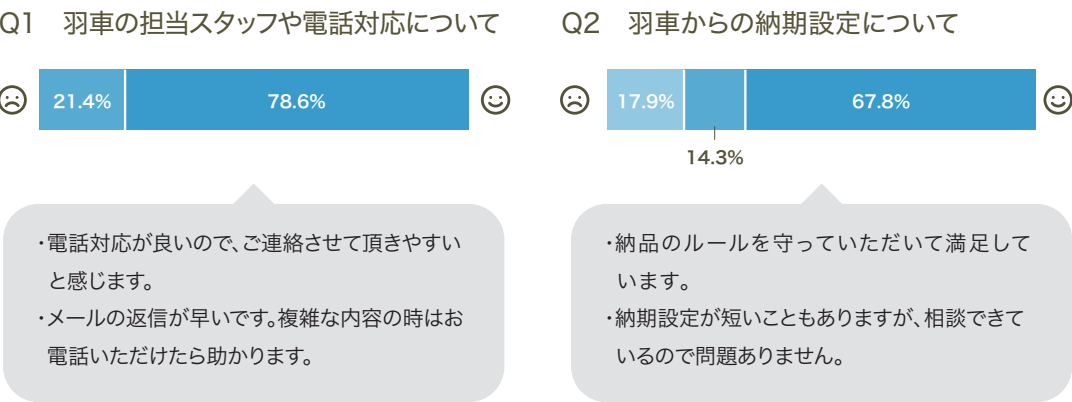
羽車にご注文いただいているお客様、またお取引先企業様を対象に、満足度アンケートを行いました。今後も定期的に行い、評価やご要望を改善に活かしてまいります。



HAGURUMAストアのお客様より(回答数:147件)



お取引先企業様より(回答数:48件)



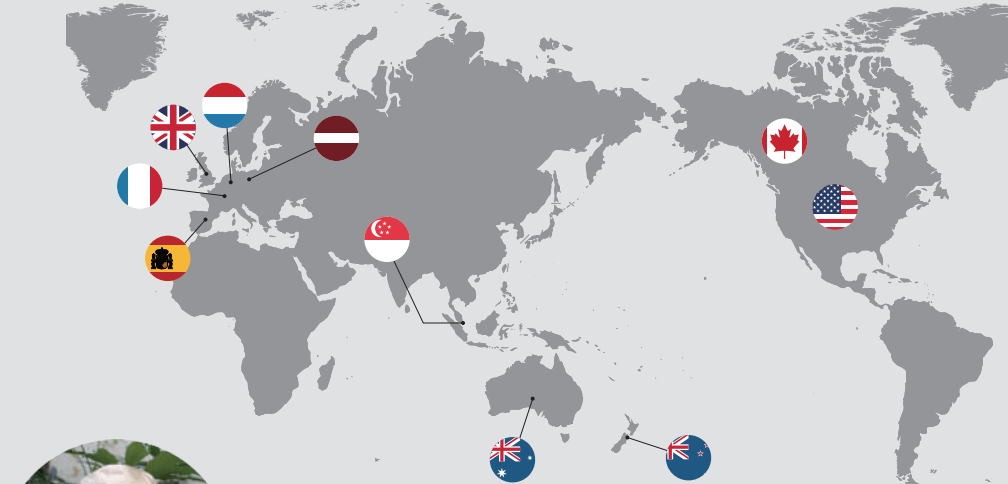
印刷用のデータは作れないけれど、簡単に注文したい

改善しました

デザイン済みのテンプレートの充実を進めています。ロゴや文字情報を入れて簡単に注文でき、好評いただいています。また、ヒアリングシートから羽車にてデザイン作成を進める「+ (プラス) デザインサービス (かんたん)」もご活用いただいています。

海外とのつながり

羽車が提供する商品・サービスについて、よりグローバルな価値を生み出すために、私たちは海外とのつながりを大切にしています。



契約デザイナー
Emile Holmewood さん

私はニュージーランド出身で、現在は神奈川県湘南に住んでいます。もともとはグラフィックデザインを学び、デザイナーとして働いていましたが、ロンドンに移住後、イラストレーターとしてキャリアチェンジしました。作品は主にデジタルで制作しており、シンプルでフラットな線や形を基調に、少しカートゥーン調の雰囲気を取り入れています。

羽車のことは、イギリス出身のイラストレーター、アンドリュー・ジョイスさんが羽車と一緒に手掛けた作品を見たことがあり、その名前は知っていました。現在、羽車でのお仕事は小さなイラストの制作が多く、限られた色数の中でデザインをまとめ、印刷で美しく再現されるよう工夫するプロセスはとても楽しいですね。羽車の印刷加工は、触れた時に質感や上品な雰囲気を与えてくれると感じています。特に、ぐっと押されたデボス (凹み) 加工や活版印刷の仕上がりが大好きです。

羽車の皆さんとは、いつも気持ちよく仕事ができ、とても幸運だと思っています。海外のクライアントとの仕事が多い中、日本の皆さんと一緒に働けることは、私にとって本当に素敵な体験です。





私はアメリカ在住で、個人的にさまざまなデザインを手掛けています。
HAGURUMAを知ったきっかけはInstagramでした。
今回は、自分の結婚式のペーパーアイテムを個人プロジェクトとしてデザインし、
オーダーメイドの結婚式招待状一式とサンキューカードをお願いしました。

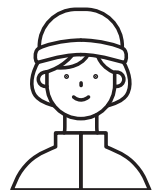
HAGURUMAさんにはいつも上質な紙素材と丁寧なサービスを提供していただいています。
以前注文したお礼状は、細かい箔押し加工のデザインでしたが、
事前に仕上がりについて案内があり、安心して注文できました。
細部までこだわった仕上がりは本当に美しく、手に取るたびに嬉しくなります。
これからもぜひお願いしたい、大好きな会社です。



アメリカ 個人デザイナー

私はアメリカ在住の写真家です。主にファッション系の写真を撮っています。
HAGURUMAのことは友人に教えてもらい知りました。

今回オーダーしたのは、私にとって初めてのフォトZINEです。
冊子には赤い糸の中綴じミシンを利用しました。仕上がったZINEは、
製本加工がとても丁寧にされていたのが印象的でした。
また、注文までのメールのコミュニケーションも素晴らしく、
安心して快適に注文ができました。



アメリカ フォトグラファー

写真左：海外の契約デザイナーのイラストを使用した既製品や印刷サンプル



HAGURUMA Family

日々共に働く170名のHAGURUMAファミリー。
働きやすい環境、研修制度、スタッフインタビューなど、羽車を内側からご紹介します。

外部研修

製紙工場見学 12名

社内研修

外部講師による接客マナー研修（月1回 全12回開催・各16名参加）
敬語の使い方などの基本マナーから、電話・メール・クレーム対応などを学びました。

通信販売研修（月1回 全12回開催・各6名参加）

製造研修（月1回 全12回開催・各16名参加）

代表による四半期ミーティング（年4回開催、従業員170名が参加）
業績や現状の課題、今後の目標について従業員に共有しています。
社会や環境問題の事例紹介もあり、従業員が社会課題への関心や意識を高める場となっています。

「Family&Friends Day」開催

2025年3月本社にて、社員とその家族・友人を招待したイベントを開催。
83名が参加し、工場見学ツアー、子供向けワークショップや
紙の取り放題コーナーなどを楽しみました。



社内報「Hugming（ハグミング）」発行

社員間のコミュニケーションを深めるため、編集長と倫理規範室メンバーが年3回発行しています。
タイトルは“ハグする・育む・ハミング・ハグルマ”を組み合わせた社員の提案から誕生。
ためになるニュースや社内の倫理観をやさしく伝えています。

社員の働き方とワークライフバランス

社員が仕事を通じて成長できるように、資格取得の支援や社員研修を実施しています。子育て中の仕事、定年後の再雇用など働き方の多様化に柔軟に対応しています。安心して長く働ける環境は、社員と会社双方にとって大切なことだと考えています。今期も4名の方がシルバー人材センターより週20時間内で働いています。

働き方の多様化への対応

能力・スキルを持った社員が、家事や出産育児、介護などの様々な制約がある中で、長く働くことができる支援、制度の構築にチャレンジしています。テレワーク社員とは、Googleチャットでのコミュニケーションを活用し業務を円滑に進めています。

定年再雇用制度

製造会社にとって、熟練したスキルを持つ社員は大切な存在です。定年後、継続して雇用を希望する場合は定年再雇用制度を利用することができます。現在16名（65歳以上＝6名、60歳以上＝10名）の社員がこの制度を利用して働いています。長く就業を希望される方は増加傾向にあります。今後も体力面や体調管理を考慮し、長く就業していただける環境をつくってまいります。

育児と働き方

この5年間での出産後の復帰率は、100%となっています。育児休業後は、子どもが3歳になるまで、短時間勤務を選択できます。ほとんどの方が短時間勤務制度を利用して、通常勤務へと戻っています。現在、産休・育児休業取得者は2名、子育て中の短時間勤務者はおりません（2025年9月時点）。90期の男性の育児休業取得者は1名、引き続き男性の育児休業取得も推進していきます。また、2024年4月より、小学校2年生までの子の世話をするための特別有休制度を導入しています。2024年度は、半日単位で50回の利用がありました。

有給休暇と残業

2024年4月1日～2025年3月31日までの有給休暇取得率は、昨年度の87.9%を下回り76.4%でした。2024年4月より時間単位の有給休暇制度を導入しており、初年度は半数以上の方が利用しました。育児や通院など、短時間の休みが欲しい時に積極的に活用されています。今後も社員が自由に休暇を取れる環境を推進し、有給休暇取得率90%を目指します。90期の残業に関しては、1ヵ月平均17.9時間／人となり、89期とほぼ横ばいとなりました。91期も、勤務間のインターバル11時間を推進し、効率化及びワークシェア体制を強化し、引き続き残業時間の減少を目指します。

クラブ活動

ゴルフ部は12月と6月に羽車コンペを年2回開催し交流を深めました。

2024年12月 奈良県奈良市（8名参加） 2025年6月 大阪府堺市（9名参加）

アウトドア部は社員が楽しく集い交流できるイベントを開催しました。

2025年4月 本社敷地内にてお花見（ご家族を含め50名参加）

2025年9月 本社4Fテラスにてバーベキュー（65名参加）

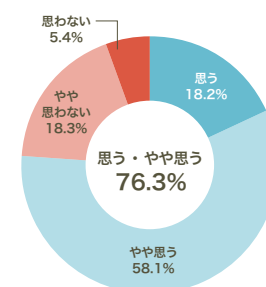
従業員満足度アンケート

2025年9月に従業員を対象とした満足度アンケートを実施しました。
今後も定期的に行い、改善に活かしてまいります。

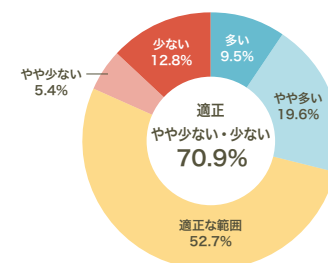
アンケート概要

実施期間：2025年9月22日～9月30日 調査対象：従業員175名

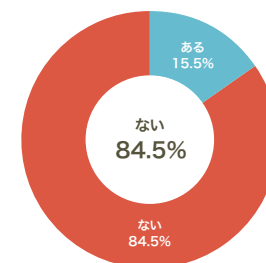
回答数：148件（回答率84.5%）匿名にて実施（Google formを利用）



仕事内容にやりがいを感じ、
成長を実感できている



90期の残業について教えてください



90期（今年4月から現在まで）において、上司や同僚、
部下からの言葉・ふるまいに、ハラスメントだと感じた
（またはそのような場面を見かけた）ことがありましたか？

アンケートより抜粋（仕事を前向きに進める改善案の回答 69件）

- ・部署間を超えて交流できる研修やイベントがあるといいと思います
- ・自分から提案しやすい環境であれば、気持ちよく仕事ができるのでは
- ・食堂以外の休憩スペースが充実すればよいと思います
- ・仕事の優先順位をわかりやすく共有したい
- ・挨拶や雑談など、小さなコミュニケーションをもっととっていききたい



SDGs



羽車では、2020年6月にSDGs(持続可能な開発目標)の社内プロジェクトが発足しました。現在8つの取り組みについて活動しています。健康づくりの取り組み「ウォーキングイベント」は参加率65%。楽しく健康に寄与できるよう継続予定です。90期は社内にて「ものを長く使うことの大切さ」についての映画を上映し、31名が参加しました。地球環境や社会課題を考える機会となっています。今後も適宜見直しを行いながら、より良い取り組みの継続を目指します。



SDGsメンバー
事務局長 田中



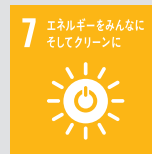
3 すべての人に健康と福祉を
健康宣言 従業員の予防・健康づくりの取り組み
ウォーキングイベント
(2025年4月実施)
社内敷地内の全面禁煙 継続



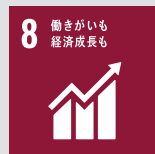
4 質の高い教育をみんなに
ミャンマーに翻訳絵本を送るボランティア (31名が参加)
自然科学雑誌「ナショナルジオグラフィック」の提供 (10名が応募)
映画「リベアカフェ」上映会 (31名が参加)



5 ジェンダー平等を実現しよう
女性雇用の充実 育児休暇取得の促進 ライフスタイルに合わせた勤務体制



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
本社工場電力を100%再生エネルギーに (2021年7月より)



8 働きがいも経済成長も
シルバー人材の採用(シルバー人材センターより4名)
国内外デザイナーとのコラボレーション(19名)



17 パートナースhipで目標を達成しよう
堺市主催
堺の森再生プロジェクト里山の保全活動 (ご家族を含め9名参加)
関西経済連合会主催
ASEAN 諸国の企業・経済団体幹部の工場見学・意見交換 (12名来社)



羽車オリジナル原紙は新たに3種類を開発し、全54種類となりました。森林認証紙・再生紙・非木材紙など、環境負荷の少ない素材を採用しています。また工場では、3Rの実施や廃番品・余り紙の販売等を行いました。今期の廃棄率は月平均34.41%となり、前期比+1.05%増加しました。2030年までの目標廃棄率17%を目指し取り組みを継続します。

健康経営の取り組み

羽車では2022年に「健康宣言」を行い、健康経営への取り組みを進めています。

社内敷地内禁煙の実施

喫煙率の推移 2023年10%→2024年9%→2025年9%

ワークライフバランスの充実を促進

長時間労働による負荷の平準化を目指し、目標値を設定しています。

目標値：残業時間45時間超の延べ人数35名

2023年度81名→2024年度104名

健康診断

2024年度の定期健康診断は48名、生活習慣病健康診断は94名、人間ドックでの受診は2名、合計144名(受診率100%)でした。検査後、再検査勧奨を59名に通知しました。今後も健康状態の改善を推進します。

ウォーキングイベント (2025年4月実施)

部署ごとに歩数と加算ポイントを集計する、遊び心のあるイベントを実施。気軽に楽しみながら健康増進を目指します。

2024年4月:135名参加、参加率75%、1日平均歩数7,192歩(前期実施)

2025年4月:119名参加、参加率65%、1日平均歩数6,763歩(今期実施)

ストレスチェック (2024年11月実施)

143名実施(実施率100%)、高ストレス者34名(高ストレス率23%)でした。

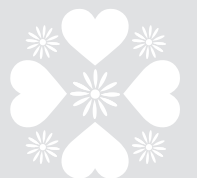
相談窓口などの積極活用を推進しています。

慈善寄付

羽車では、社会の一員として団体や活動に対して寄付を行っています。寄付先は主に「デザイン」「文化的活動」「教育」「地域」「地球環境」の領域としています。国内外の法令を守ると共に社内ガイドラインを設け、商業活動とは明確に分離しています。

90期の寄付先

2024/12/7	「堺の森活」堺市南部の里山で下草刈りや間伐などの里山体験に参加
2025/6/25	シャンティ国際ボランティア会 絵本を届ける運動
2025/8/21	ミャンマー地震救援金の寄付
通年	堺市内の幼稚園30園に余り紙の提供



社員インタビュー



環境に優しい取り組みをしていますか？

マイボトルを持参していて、ゴミの分別にも気を付けています。あと、通勤は電動自転車で1時間くらい、雨の日も通ってます。環境に優しい？ですかね（笑）

趣味

映画や推しのライブ映像などを家族と楽しむ時間がリラックスできますね〜♡



井上 茜（いのうえ あかね）

製造部 製版グループ

私の業務は、主に印刷データを製版する前の最終確認です。手配書と原稿を照らし合わせ、内容に誤りや不明点があれば営業担当者に確認しています。ここから製版・手配が進みますので、印刷加工手配の入り口のような部署になります。

毎日、同僚と2名で数百件の案件を確認しています。まずは管理番号とお客様名、商品、枚数、色数などについて、手配書と原稿を照合し、必要であれば印刷内容もチェックします。例えば、郵便枠付きの封筒への印刷で、郵便枠の上にデザインが入っている場合は、商品の指定ミスか、データの修正が必要か、確認をしています。また、印行や料金マークの有効期限など見落としやすい部分は、ミスを未然に防げたらよいな、という気持ちで確認を心がけています。小さな気づきやひと手間で、現場やお客様の安心につなげていけたらと思っています。

入社して17年になります。もともと人見知りで、わからないことを聞くのをためらっていました。でも「聞かないと前に進めない、後で困るのは自分」と気づいてからは、少しずつ周りに話しかけるようになりました。周りの方に支えられながら成長させてもらっていると感じます。

大切にしているのは、とにかく製造現場が困らないようにすること。重要だなと思うところには、指示が目立つようにすることもありますね。営業さんと現場をつなぐ“架け橋”になることを心がけて仕事をしています。

去年は、3か月ほどインクの調合を経験させていただき、ぐっと視野が広がりました。今は手配書の「機番振り分け（印刷機械の指定）」も担当しており、印刷機の性能について小牧マネージャーに確認しながら進めています。担当になってからは印刷機への興味も深まり、社内のいろいろな部署を見学できる機会があるといいなと思っています。

今後は、同じ部屋の製版グループのフォローもできるようになりたいです。忙しい時や休暇の際にお互い助け合えるよう、少しずつできることを増やしていきたいですね。



趣味・環境に優しい取り組み

趣味は野菜作り。今年は猛暑の中、きゅうり・トマトをだいふ収穫できました。また釣りも好きで、時々和歌山や淡路島に行きますが、持ち帰るのは食べる分だけと決めています。

めだかやどじょう、ヨシノボリも飼っています。川底でじっとしている魚もかわいいですよ。



豊田 英二（とよだ えいじ）

製造部 印刷・特殊加工グループ

入社して今年で27年になりました。私の担当は、活版印刷（プラテン機）、オフセット印刷、そして紙の縁や断面を彩るボーダード・エッジカラー加工。このボーダード・エッジカラー加工はすべて手作業なのですが、私が主にこの作業を担当しています。今は多能工化が進み、複数の機械を扱うスタッフも増えました。私の「三役」も、今では珍しくありません。

ボーダード・エッジカラー加工は、とにかくアナログな加工です。堺市工場に移転した頃からこの加工を引き継ぎましたが、長く携わってきた封筒用オフセット印刷機との違いに、はじめはかなり戸惑いました。ボーダード加工は、とにかく均一に紙をずらすのが難しく、1年ほどは腱鞘炎に悩まされました。エッジカラーは吹き付けるインク量の調整が大切。少なすぎると色が薄く、多すぎるとインクが裏に回ってしまいます。手作業の感覚と経験値で、集中して作業をしています。

また、私は活版印刷機（プラテン機）も担当しています。活版ならではの「文字の凹み」を、できるだけシャープに美しく表現できるよう意識しています。3年前に退職された師匠の上田さんは職人らしい厳しさがありましたが「紙と印刷の凹みに“触れた感覚”を大切に」と教えてくれました。現在は、プラテン機を3人で分担し、色版2人、スミ版1人という体制で、相談しながら効率的に進めています。

これからの目標は、まずボーダード・エッジカラー加工の技を、次の世代へしっかり伝えていくこと。そして、いつかハイデルベルグの大型活版印刷機にも挑戦してみたいですね。実は、私の母も松原工場の時代に羽車で働いていました。子どもの頃、私は時々工場で遊んでいたそうです。そう考えると、羽車とはずっとご縁があるんですね。これからもここで、印刷加工に挑戦し続けたいと思います。



趣味・環境に優しい取り組み

サブスクで利用している「オーディオブック（聞く読書）」です。最初は半信半疑でしたが、話題の本も難しい小説も楽しく聞けるのでおすすめ。目も疲れないので、耳で読めるのはありがたいです。あとは、14歳のマルチーズ2匹の世話や、改めて家事も手伝っています。

会社では余ったラベルシールでゴミ取り。
地味ですけど、
けっこう便利です（笑）



小牧 健一（こまき けんいち）

製造部 印刷・特殊加工グループ 製版グループ

入社して今年で38年になります。羽車の印刷を担当していたウイング株式会社の時代から、長く印刷に関わってきました。現在は、印刷・特殊加工グループと製版グループをまとめる印刷部門のマネージャーを務めています。

今、印刷部門で私が最もベテランになりました。技術や印刷機の変化も見てきましたが、一番変わったのは職場の雰囲気です。現在の印刷部門は32名。うち約3分の1が女性スタッフで、品質管理など若い社員たちが自信を持って活躍しています。入社当時とはまったく違う、フラットなチームになってきたと感じます。

私自身にもいくつか変化がありました。ひとつは、一時期印刷工程から離れ、断裁・窓工程へ異動したことです。何も分からない中、若い社員に教わりながら必死に仕事を覚えしました。その経験は「印刷に慣れすぎて、慢心していたのでは」という気づきにつながりました。

もうひとつの変化は、今年9月に通信制大学を卒業したことです。きっかけは、若い社員に印刷について教える中で、感覚的に伝えるのではなく、具体的な言葉にしなければ伝わりにくいと感じたことでした。大学を探し履修内容を調べるうちに「4年後の自分はきっと変わっているはず」とワクワクし、挑戦を決意しました。

大学では、社会学科にて日本語教員の養成課程の修了と、認定心理士の資格を取得しました。日頃の工程管理のおかげで履修計画は完璧。しかし、平日夜と休日にコツコツ勉強するのは正直こたえました。幸い体力はあり、できないとなると腹が立つ性格。4年後を楽しみに何とかやり切りました。特に印象に残っているのは心理学の授業です。人の思い込みや不快にさせる態度について、感情の理解など、仕事にも通じる学びがたくさんありました。

大学に限らず、「少し先の自分」に向けてタネをまくことはとても大事なことです。何かに挑戦してみたいと思ったら、迷わず動いてほしい。きっと新しい発見があります。

これからも印刷部門がさらに進化していけるように、また自分が学んだことを仲間や会社に役立てたいと思っています。



趣味・環境に優しい取り組み

最近、道の駅めぐりを楽しんでいます。先日は丹波栗スイーツのついでに、道の駅で旬の黒豆枝豆を見つけて、美味しさに感激しました。兵庫や奈良、和歌山など、まだまだ素敵な場所がたくさんありますね。もちろん、食品ロスなどには普段から気をつけるようにしています。



東浦 政智（ひがしうら まさとも）

製造部 印刷・特殊加工グループ

私は、ハイデルベルグのシリンダー活版機と、オフセット枚葉印刷機などを担当しています。どちらも工場の1階にしか設置できない、大型の機械です。入社して今年で28年になります。入社当初はウイング株式会社で印刷を学び、その後、断裁やトムソン抜き作業も10年ほど経験しました。

実は、入社前は調理師として働いていて、印刷の世界は全くの未経験でした。ですが、手順をイメージしながら手を動かしていく感覚や、調味のように少しずつ色を重ねてインクを作るところなど共通点も多く、自分には合っていると思っています。

大型機械の導入時には、必ず立ち合いをします。業者さんから操作の説明はありますが、微調整をして使いこなせるようにするのは私の役目。機械をまるごと任せられるのは大変ですが、その分やりがいも大きいですね。

日々の業務では、数量や仕様に応じて最適な機械を選び、色替えの回数を抑えた効率よい作業の流れを組み立てています。印刷グループは1階と3階に分かれていて連絡もなかなか難しいですが、日頃からフォローし合える体制づくりも意識しています。

今期特に印象に残っているのは、万博に出展した多色活版印刷のアート作品です。約1年間かけ数回に分けて印刷し、全72種類のカードを制作しました。作業は一度始めると2日半ほどかかり、その間はそのカードにかかりきり。色の重なりや圧の調整には集中力が必要で、1日で6色刷るのが限界でした。印象に残っているモチーフは、色数は少ないけれど難易度の高かった「ちょうちん」、16回も加工を重ねて最後に完成した「羽車」。挑戦的な工程が多く、大きな達成感を得られました。

これからは、シリンダー活版機の技術を、後輩に伝えていきたいと思っています。もともとバイクをいじるのが好きで、機械の調整や修理は得意な方。後輩には「だいたいのは直せるから、臆せず機械に触って経験を積んでほしい」と伝えています。これから多色活版印刷が広がって、たくさん刷っていただけたら嬉しいです。

